

津島壽一 つしま じゅいち 政治家、隨筆家。明治二十一年一月一日香川縣坂出市生れ、昭和四十二年二月七日歿（八六八―一九七）。號方堂、芳塘。東京帝國大學法學部卒。大藏省に入り、東久邇内閣の藏相として戦後經濟混亂の收拾に當る。

「一日一感録」と題して毎日書き綴つた二百四十巻、一萬枚の中のみ、第一高等學校以來の友人谷崎潤一郎について書いた部分を中心として、「谷崎と私」（昭和二十八年三月三十一日中央公論社）を出版。ゆゑ著作を「芳塘隨想」として順次刊行し、前書の改訂新編「谷崎潤一郎君のこと」（昭和四十年二月一日芳塘刊行会）を、その第十二集（先輩・友人・あれこれ巻五）とした。

